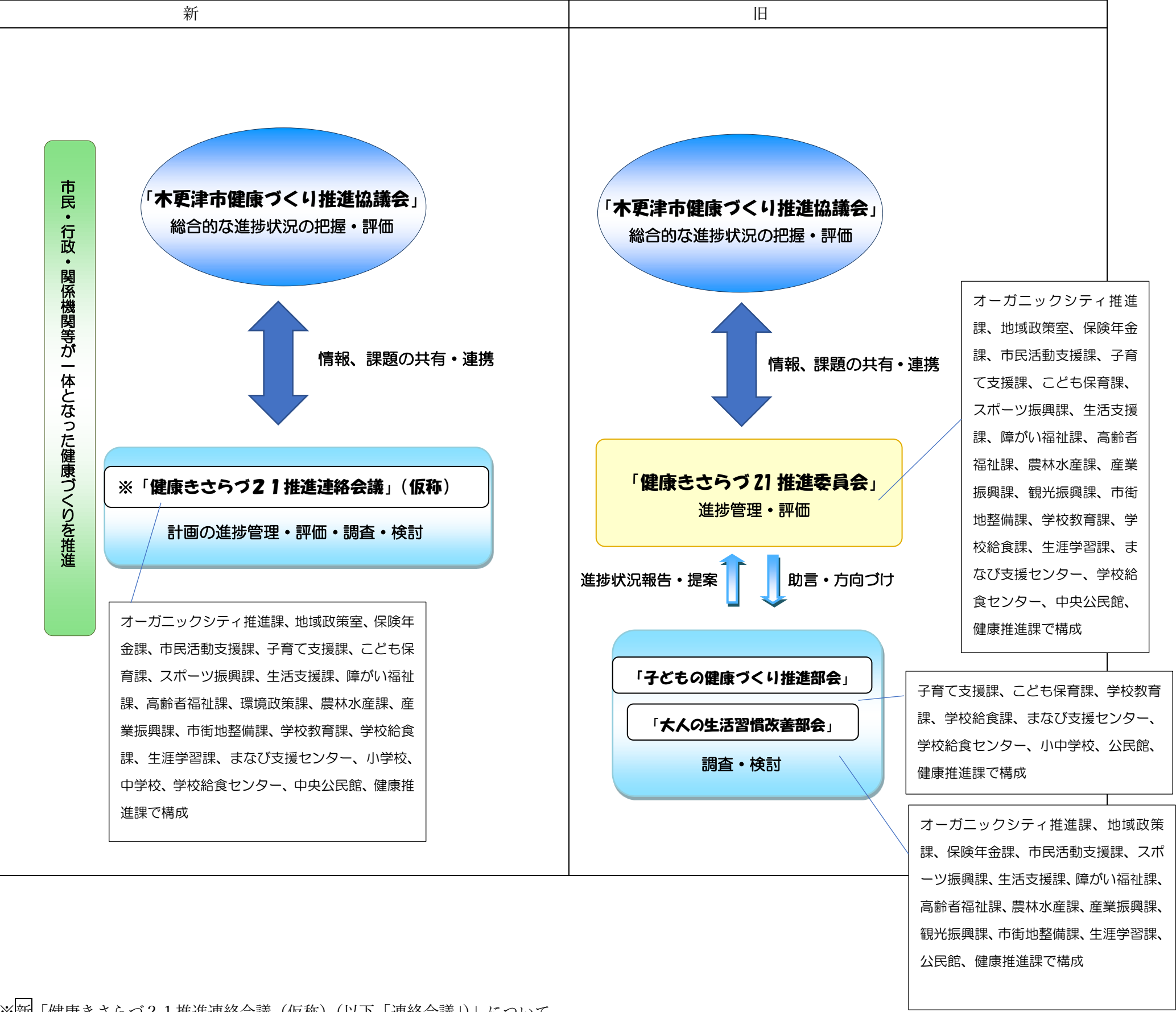


計画の推進体制の変更（案）

本計画において目指している、「健康寿命の延伸・健康格差の縮小」実現させるためには、市民・行政・関係機関が一体となった健康増進の推進体制が求められます。

「木更津市健康づくり推進協議会」と「健康きさらづ21推進連絡会議（仮称）」を組織し、市民の健康づくりに関し、市民・行政・関係機関が相互に情報、課題の共有、連携を行っていきます。



※新「健康きさらづ21推進連絡会議（仮称）（以下「連絡会議」）」について

次期計画においては、社会がより多様化することや、胎児期から老齢期に至るまで人の生涯を経時的に捉えた健康づくり（ライフコースアプローチ）を念頭においた取り組みが必要です。現行の推進体制においては、「子どもの健康づくり推進部会」、「大人の生活習慣改善部会」にて部門を分けていましたが、統合することで、ライフコースアプローチを意識し、より同じ方向性で連携した取り組みを推進しやすくなります。また、「連絡会議」の構成員は各課から選出された代表職員であり、課の取り組みや意見を吸い上げており、現行の「健康きさらづ21推進委員会」、「健康きさらづ21推進委員会」、「子どもの健康づくり推進部会」、「大人の生活習慣改善部会」の所掌事務は、「健康きさらづ21推進連絡会議（仮称）」に移行することとします。